

## サービスホールからのお知らせ

- ◆ サービスホールは、毎月第1水曜日と年末年始を除いて毎日開館しています。原子力発電所のしくみや構造、柏崎刈羽原子力発電所の地震・津波対策の状況を、スタッフがパネルや模型を使ってご案内していますので、どうぞお気軽にご来館ください。

### <説明会のご案内>

ゴールデンウィーク期間中、以下の日時に「発電所の現状に関する説明会」を開催します。

日時	28日(土)	29日(日)	30日(月祝)	1日(火)	2日(水)	3日(木祝)	4日(金祝)	5日(土)	6日(日)
午前 (10:30~11:30)	○	○	○	-	休館日	○	○	○	○
午後 (14:00~15:00)	○	○	○	-		○	○	○	○

- **内容** 福島第一原子力発電所の現状と中長期ロードマップ  
柏崎刈羽原子力発電所の地震・津波対策 など
- **場所** サービスホール受付前ロビー（※参加者多数の場合は、サービスホールシアターにて開催）
- **お問い合わせ** サービスホール

☎0120-34-4053(9時~16時30分)

### <「喫茶室」と「売店」の営業終了のお知らせ>

- ◆ 地域のみなさまに長年親しんでご利用いただきました、喫茶室「はまなす」と、売店「まつぼっくり」は、このたび、5月末日をもって閉店させていただくこととなりました。これまでのご愛顧に、スタッフ一同、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



喫茶室「はまなす」



売店「まつぼっくり」

- ◆ サービスホールは、今後も地域のみなさまへ発電所情報をわかりやすくお届けできる展示館として運営してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

(おひらき線)

みなさまの声を聞かせください  
1. 「放射線」について、ご質問がございましたら、お聞かせください。

2. 発電所に対して、その他ご意見・ご質問がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました

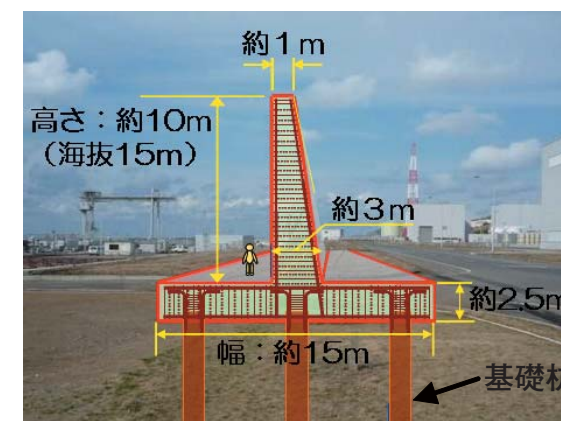
こちらのがきで  
ご意見・ご質問を  
お寄せください。

2012年4月22日発行 (H24-R-1)  
編集発行責任者  
柏崎刈羽原子力発電所  
広報部企画広報グループマネージャー  
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46  
☎0120-120-448  
(フリーコール：月~金曜日 9~17時)

## 発電所ニュース

### 防潮堤（堤防）の工事を着実に進めています

- ◆ 1～4号機側では、基礎となる杭を約900本打込む予定ですが（最大深さ約50m）、4月15日現在で約200本の打込みが終わりました。
- ◆ また、5～7号機側では、セメント改良土による盛り土の築堤作業を計画どおり進めています。



完成イメージ (1～4号機側)

# はがきでお寄せいただいた「声」にお答えします

**Q. 津波対策として電源車や消防車を配備しているようですが、大地震で道路がアクセスできなくなった場合に対応できるのでしょうか？**

**A. 発電所内の主要な道路は、耐震強化を実施済みです。**

柏崎刈羽原子力発電所では、平成19年の中越沖地震で陥没した道路を復旧する際に、主要な道路の耐震強化（地盤改良等）を行いました。

また、構内に砕石（砂利）を蓄え、道路が陥没しても速やかに補修を行い、通行が確保できるようにしました。さらに、がれきの散乱や積雪により通行の支障となることを想定して、がれき撤去車も配備しています。



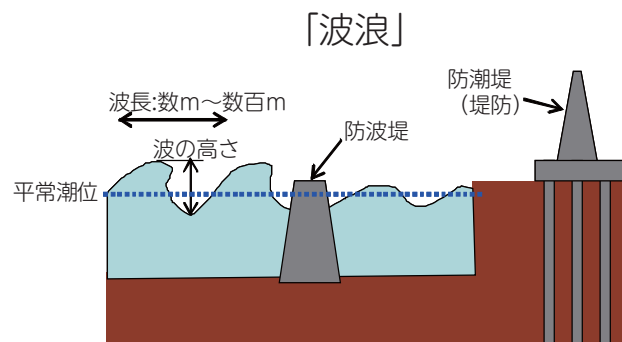
発電所に配備した消防車・電源車・がれき撤去車

**Q. 「津波の高さ」と天気予報の「波の高さ」はどう違うのでしょうか？**

**A. 「津波の波の高さ」と「普通の波の高さ」は測り方が違います。**

「津波の高さ」は、津波がない場合の潮位（平常潮位）から、津波によって海面が上昇した水面の高さです。

一方、「波の高さ」は、波の山から谷までの高さです。平常潮位から海面が下がった位置との差をとるところが違います。

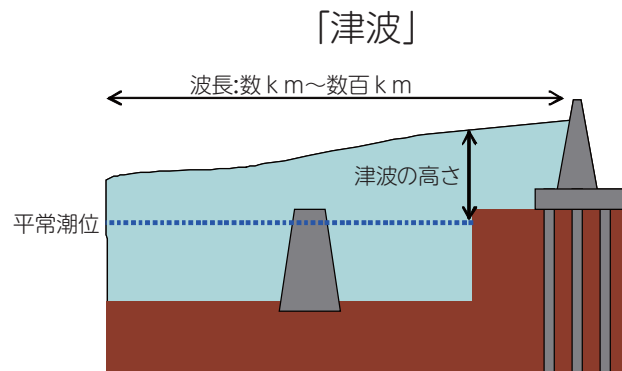


ちなみに、風が強い日には天気予報で「波浪警報」が出されることがありますが、「波浪」と「津波」は異なります。

海面の表面だけが荒れるのが「波浪」、海水全体が押し寄せてくるのが「津波」です。

「波浪」の波長（1波1波の間隔）は数mから数百m程度ですが、「津波」の波長は数kmから数百kmです。

「津波」は海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せてきます。



発電所は、通常の「波浪」は『防波堤』で防御しており、外洋で7～8mの波であっても、発電所の港湾内では小さい波になっていて、「波浪」で発電所が水を被ることはありません。

また、柏崎刈羽原子力発電所で想定している「津波」の高さは3.3mです。この想定を超えるような津波に対する発電所の安全を高めるため、高さ15mの『防潮堤（堤防）』を建設中です。

『防潮堤（堤防）』は「津波の波力」や「地震の揺れ」にも耐える構造としています。

今後もみなさまの声にお答えしてまいります

# 【シリーズ】放射線のはなし③

## ～放射線の健康への影響～

◆前回の「放射線のはなし」では、私たちの身の回りに“自然界の放射線”が存在し、日本では1年間約1.5ミリシーベルトの自然放射線を受けていることをご紹介しました。

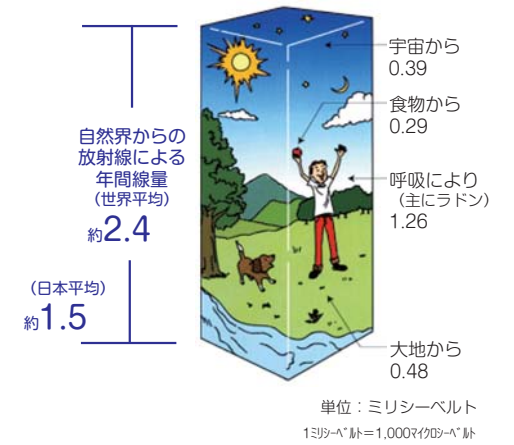
◆それでは、どのくらいの放射線を受けると健康への影響があるのでしょうか。

◆右下の図のとおり、数百ミリシーベルト以上という大量の放射線を一度に受けるといろいろな症状が出ます。

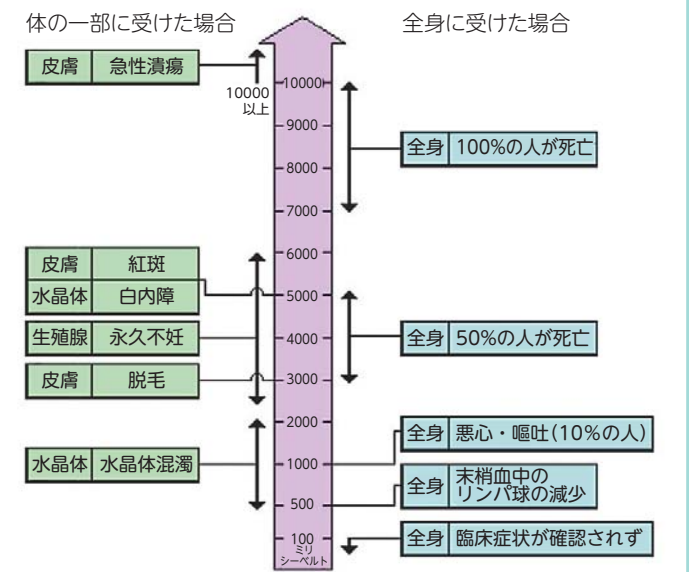
◆なお、放射線量の増加に伴い、がんが発生する危険性も増加しますが、これまでの研究では、一度に受ける放射線量が100ミリシーベルトより低い場合はその確率が非常に小さく、統計的にも影響を確認できない程度であると言われています。

◆つまり、健康への影響は確認できないほどに小さいということです。

◆これは、広島・長崎での原爆により放射線を受けた方々を長期間にわたって調査した結果によるものです。



## 放射線を一度に受けた時の影響



出典：「ICRP Pub.60」他

## 【発電所ミニデータ】

- 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は6,676人です。(4/2現在)
- 内訳は以下のとおりです。

＜東京電力＞			(人)
県内	柏崎市	937	
	刈羽村	93	
	その他	114	
県外			84

＜協力企業＞			(人)
県内	柏崎市	2,605	
	刈羽村	239	
	その他	1,119	
県外			1,485
＜合計＞			6,676

料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所  
広報部  
(柏崎支店私書箱53号)

945 8790 4

差し支えなければご記入ください

（切手不要）

差出有効期間  
平成25年3月31日まで

15  
柏崎支店  
承認

お名前

ふりがな

ご住所

お電話番号

ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。  
(2012年4月号)